訴　　　　状

平成○年○月○日

○○地方裁判所民事部　御中

　　　　原告訴訟代理人弁護士　　　甲　　　野　　　太　　　郎　印

　　〒○○○－○○○○　東京都△△区□□○丁目○○番○号

　　　　原　　　　　　　　告　　　甲　　　山　　　一　　　郎

〒○○○－○○○○　東京都○○区××○丁目○番○号□□ビル○階

　　　　　　　　　　　　甲野法律事務所（送達場所）

　　　　上記訴訟代理人弁護士　　　甲　　　野　　　太　　　郎

　　　　　　　　　　　　　電　話　０３－○○○○－○○○○

　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ　０３－○○○○－○○○○

　　〒○○○－○○○○　東京都△△区□□○丁目○番○－○○○号

　　　　　　　　被　　　　　　　　告　　　乙　　株　　式　　会　　社

上記代表者代表取締役　　　乙　　　川　　　次　　　郎

退職金請求事件

　訴訟物の価額　　　○○万円

　貼用印紙額　　　　　○万円

第１　請求の趣旨

１　被告は，原告に対し，○○円及びこれに対する平成△年△月△日から支払済みまで年６％の割合による金員を支払え。

２　訴訟費用は被告の負担とする。

３　第１項につき仮執行宣言

第２　請求の原因

１　当事者

被告は○○等を目的とする会社であり，原告は平成○年○月○日から同○年○月○日まで合計○○年○か月にわたり被告会社に勤務していた者である。

２　雇用契約の締結と内容

原告は，平成○○年○○月○○日，被告会社との間で，下記の条件で期限の定めのない雇用契約を締結していた（甲１）。

ア　基本給○○万円

イ　毎月２５日締め，同月末日払

３　退職金規程における退職金算定方法

被告会社には，平成○○年○○月○○日施行にかかる次の退職金規程がある（甲３）。

従業員には，自己都合退職の場合，退職時の基本給に勤続年数（端数は月割りで算定する）を乗じた金額を退職金として支給する。

前条の退職金は，退職日から４０日以内に支給する。

４　退職の事実

原告は，平成○年○月○日付で，「一身上の都合により平成○年○月○日をもって退職します」旨の退職願を提出し，被告会社を退職した。

５　原告の受けるべき退職金の額（計算）

これによれば，原告が受けるべき退職金額は次のとおり算出されるものの，被告会社は今日に至るまでその支払いを拒んでいる。

＜計算式＞

勤続年数○年×退職時基本給○○万円＝○○万円

６　よって，原告は，被告に対し，退職金○○円及びこれに対する平成△年△月△日から支払済みまで年６％の割合による遅延損害金の支払を求める。

以上

１　甲１号証　雇用契約書

２　甲２号証　就業規則

３　甲３号証　退職金規程

１　訴状副本　　　　　　　　　　　　　１通

２　甲１ないし３号証（写し）　　　　各２通

３　証拠説明書　　　　　　　　　　　　２通

４　履歴事項全部証明書　　　　　　　　１通

５　訴訟委任状　　　　　　　　　　　　１通